

令和5年6月29日  
於：大阪私学会館

# 第93回通常総会

## 資 料

### 議 案

第1号議案 令和4年度事業報告（案）について

第2号議案 令和4年度決算報告（案）及び監査報告について

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

## 次 第

1. 開会の辞
2. 理事長挨拶
3. 来賓祝辞
4. 総会宣言
5. 議長就任挨拶
6. 議事録署名人選出
7. 議案等審議

### 【議 案】

第1号議案 令和4年度事業報告（案）について

第2号議案 令和4年度決算報告（案）及び監査報告について

8. 閉会の辞

## 第1号議案 令和4年度事業報告(案)について

### 令和4年度事業報告

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の広がり収束せず、教育現場においても、徐々に平常化に向けた動きはあったものの感染対策に追われた一年となった。国内外において収束に向けた様々な取り組みが行われているが、大阪府専修学校各種学校連合会(以下「大専各」という。)でも、対面とオンラインを共存させたハイブリッド会議の実施などの取り組みを行ってきたところである。

このような中、高等教育の修学支援新制度において、専門学校も「我が国の実践的な職業教育を担う高等教育機関として」その対象となっており、文部科学省「高等教育の修学支援新制度の在り方検討会議」で纏められた「高等教育の修学支援新制度の見直しについて」に準じて制度改正の準備が進められている中、今後はより確かな教育機関としての基盤確保に積極的に取り組むことが求められる。

大阪では、「職業実践専門課程」の制度創設当初から全国的に高い認定水準を維持しているが、この急激な社会変化に対応して専修学校各種学校教育の質を高め、経営基盤の強化を図ると共に透明性を確保し、職業教育の有用性を広く社会全般に訴求、その社会的評価をより高めていくことが重要である。

大専各では、専門学校の学生募集・入試に関しては高・専接続推進の視点で取り纏めた「令和2年度専門学校入試に関する実施要項」に基づき、専門学校が自発的に取り組むべき課題として「3ポリシー(募集方針・教育目標・到達目標)の設定・公表」や「入試の評価方法の検討」について会員校の状況確認を行い、その推進を奨励してきたところである。

また、大阪府と大専各では、平成20年より「複線型の教育ルート」の実現を目指し、職業教育の振興に資する取組みを効果的に推進するため大阪進路支援ネットワーク事業を展開し、キャリア教育に特化した「キャリア育成BOOK」を発刊してきたところであるが、GIGAスクール構想が展開される中、1人1台整備される端末を活用した新たな学びに対応すべく電子版についてもリリースを行った。

さらに大専各では、専門学校の教育の実態および成果に関する理解増進を図るため、「専門学校“OSAKA DOGAコレクション”mil sil(ミルシル)」を昨年度に引き続き制作・公開し、新たに職業・職場・資格・専門学校での学びを高校生が理解するための職業紹介動画「mil sil(ミルシル)+まなぶ職業理解」を制作・公開した。

他にも、コロナ禍収束後再び増加するであろう留学生に対応するため、在留資格関係の申請取次者向け研修や、専修学校における留学生の受入れ、在籍管理、就職指導までの一貫した内容の研修会を実施、急激な環境変化の中、留学生委員会が主体となって行政や関係機関と連携し、留学生の受け皿となる高度な職業教育および就職準備教育の実現に向け、より一層充実した取り組みができるよう事業を行った。

また、高等課程部会では中学校教員や中学生またその保護者を対象とした合同相談会を実施し、専修学校高等課程(以下「高等専修学校」という。)の特色や魅力など学校選びに役立つ情報を紹介することで、中学校卒業後の進路の1つである、特色ある教育を行っている高等専修学校について理解促進を行った。

さらに大阪府教育庁市町村教育室小中学校課が主催する中学校進路指導担当者連絡会議においても、高等専修学校の職業教育についての説明の場を確保すると共に、依頼のあった他の市町村においても同様に説明の場を設け理解促進を行った。

以上のように、大専各ではこうした各委員会の活動を展開するとともに取り組みの推進に必要な情報を的確かつ迅速に会員校に伝達するとともに、大阪府、全国専修学校各種学校総連合会等、関係機関と一層緊密な連携を保ち、職業教育の重要性等に対する啓発活動の推進、専修学校及び各種学校の職業教育機能の充実・向上、また社会的信頼の確保に向け、積極的な取り組みを行った。

## 1 通常総会(法人会計)

定款第4章第13条の規定により6月及び3月に定例総会を開催した。

### (1) 第91回通常総会

日 時：令和4年6月27日（月）  
場 所：大阪私学会館  
議 案：第1号議案 令和3年度事業報告（案）について  
第2号議案 令和3年度決算報告（案）及び監査報告について  
第3号議案 令和4年・5年理事承認（案）について  
第4号議案 令和4年・5年監事承認（案）について  
第5号議案 令和4年・5年役員承認（案）について

(2) 第92回通常総会

日 時：令和5年3月30日（木）  
場 所：大阪私学会館  
議 案：第1号議案 令和4年度第1次補正予算（案）について  
第2号議案 令和5年度事業計画（案）について  
第3号議案 令和5年度予算（案）について  
第4号議案 定款変更（案）について

2 理事会及び常任理事会（法人会計）

定款第6章第28条及び第7章第32条の規定に基づき定例理事会及び常任理事会を開催するとともに、理事をもって構成する委員会において会務を分掌し執行した。

(1) 定例理事会

ア 5月定例理事会

日 時：令和4年5月25日（水）  
場 所：大阪私学会館  
議 題：〔審議事項〕  
○令和3年度事業報告（案）について  
○令和3年度決算報告（案）及び監査報告について  
○令和4年・5年理事承認（案）について  
○令和4年・5年監事承認（案）について  
○令和4年・5年役員承認（案）について  
○会員の異動について  
○賛助会員の異動について  
○令和4年度地方財政措置（特別交付税）に伴う職業実践専門課程認定に対する助成措置の拡充のお願い（要望）について  
〔報告事項〕  
○令和4年度全専各総連近畿ブロック協議会和歌山大会について  
○第91回通常総会役割分担（案）について  
○各委員会からの報告について  
○大阪府私立専修学校専門課程質保証・向上補助金について  
○大阪府健康医療部新型コロナワクチンの接種促進について  
○「milsil+まなぶ 職業理解」について

イ 6月臨時理事会

日 時：令和4年6月27日（月）  
場 所：大阪私学会館  
議 題：〔審議事項〕  
○令和4年・5年役員承認について

ウ 7月定例理事会

日 時：令和4年7月13日（水）

場 所：大阪私学会館  
議 題：[令和4年度事業計画について 再確認]  
[報告事項]  
○各委員会からの報告について

エ 9月定例理事会

日 時：令和4年9月14日（水）  
場 所：大阪私学会館  
議 題：[審議事項]  
○新年交流互礼会の開催について  
[報告事項]  
○各委員会からの報告について  
○「教育未来創造会議第一次提言を受けた高等教育の修学支援新制度の見直しに関する質問」についての意見（案）

オ 11月定例理事会

日 時：令和4年11月16日（水）  
場 所：大阪私学会館（オンライン同時開催）  
議 題：[審議事項]  
○令和5年度要望書（案）について  
○令和5年新年交流互礼会の実施について  
[報告事項]  
○各委員会からの報告について

カ 1月定例理事会

日 時：令和5年1月17日（火）  
場 所：大阪私学会館（オンライン同時開催）  
議 題：[審議事項]  
○令和5年度各委員会の事業計画書及び予算案について  
○役員選任規程の変更（案）および定款の変更（案）について  
○賛助会員の異動について  
[報告事項]  
○各委員会からの報告について  
○私立学校法の改正について

キ 3月定例理事会

日 時：令和5年3月1日（水）  
場 所：大阪私学会館（オンライン同時開催）  
議 題：[審議事項]  
第92回通常総会議案  
○令和4年度第1次補正予算(案)について  
○令和5年度事業計画(案)について  
○令和5年度予算(案)について  
○定款変更（案）について  
○会員の異動について  
○賛助会員の異動について  
○第92回通常総会役割分担（案）について  
[報告事項]  
○各委員会からの報告について

(2) 正・副理事長会

ア 第1回正・副理事長会

日 時：令和4年4月14日（木）

場 所：大阪私学会館

議 題：[審議事項]

- 理事選任規程の見直しについて
- 令和4年・5年連合会理事選出について
- 職業実践専門課程認定校に対する都道府県による運営補助（拡充・創設）に関する要望活動について

イ 第2回正・副理事長会

日 時：令和4年6月9日（木）

場 所：大阪私学会館

議 題：[審議事項]

- 理事選任規程の見直しについて 継続審議
- 今後の事務局体制について（人権教育事業）継続審議
- 6/27 開催臨時理事会資料について
- 他団体からの就任依頼関係について

ウ 第3回正・副理事長会

日 時：令和4年10月31日（月）

場 所：大阪私学会館

議 題：[審議事項]

- 理事選任規程の見直しについて 継続審議
- 新年交流互礼会（来賓）について
- 高等専修学校に対する地方財政措置（特別交付税）の実現に向けて

エ 第4回正・副理事長会

日 時：令和5年3月6日（月）

場 所：オンライン開催

議 題：[報告事項]

- 大専各 web サイトの状況説明および復旧作業等について
- [審議事項]
- 今後の大専各公式サイトについて
  - 大専各公式サイト運営委託業者について

(3) 常任理事会

ア 第1回常任理事会

日 時：令和4年4月26日（火）

場 所：大阪私学会館

議 題：[審議事項]

- 第91回通常総会議案
- 令和3年度事業報告（案）について
  - 令和3年度決算報告（案）について
  - 令和4年・5年連合会理事の選出について
- [報告事項]
- 広報事業 新企画 Web 型職業ガイダンスについて

イ 第2回常任理事会（財務委員会との合同会議）

日 時：令和5年2月22日（水）

場 所：大阪私学会館（オンライン同時開催）

議 題：[審議事項]

第92回通常総会議案

○令和4年度第1次補正予算（案）について

○令和5年度事業計画（案）について

○令和5年度予算（案）について

その他

○会員校変更届の様式について

○賛助会員変更申込書の様式について

### 3 総務委員会（法人会計）

(1) 後援名義使用承認

大専各では、関係団体および会員校が実施する事業等について、後援名義の使用承認を行った。後援名義の使用を承認した事業は次のとおり。

No.	使用承認日	申請者	事業内容
1	令和4年 4月 4日(月)	株式会社さんぽう	外国人留学生のための進路フェスタ
2	令和4年 4月25日(月)	職業体験セミナー実行委員会	第22回職業体験セミナー
3	令和4年 4月27日(水)	一般財団法人 大阪国際経済振興センター	第7回関西教育ICT展
4	令和4年 5月12日(木)	大阪府	令和4年（第32回）「あすなる夢建築」
5	令和4年 5月12日(木)	大阪商工会議所	第13回なにわなんでも大阪検定
6	令和4年 6月 2日(木)	公益社団法人 関西ニュービジネス協議会	関西NBCニュービジネスアワード2022
7	令和4年 6月16日(木)	公益財団法人大阪観光局	第2回外国人留学生エキスポ2022
8	令和4年 7月 7日(木)	学校法人ミクニ学園	大阪文化服装学院「高校生ファッションデザイン画コンテスト2022」
9	令和4年 8月25日(木)	修成建設専門学校	修成建設専門学校 卒業展2023
10	令和4年 9月 7日(水)	全国専門学校テニス連盟	第22回全国専門学校テニス選手権大会
11	令和4年12月15日(水)	上田安子服飾専門学校	第150回上田学園コレクション2023BON VOYAGE ファッションをめぐる旅
12	令和4年12月21日(水)	学校法人ミクニ学園	大阪文化服装学院 2023年卒業作品発表会
13	令和5年 1月 6日(金)	日本分析化学専門学校	令和4年度日本分析化学専門学校 卒業研究発表会

(2) 人権教育研修事業（実施事業等会計：公益目的事業）

人権が尊重される学校づくり及び教育を維持するための環境整備に取り組むため、大阪府立学校人権教育研究会（府立人研）と連携し人権研修会等人権啓発活動を積極的に展開した。

ア 人権教育研修事業

(ア) 第1回研修会「入門編」-新任教職員や人権について基礎から学びたい人のために-

日 時：令和4年4月28日（木）

場 所：オンライン開催

内 容：人権教育の基礎を学ぶ入門編

講 師：大専各指導員(大阪府人権擁護士) 梶山 武志氏

参加者：17名

- (イ) 第2回研修会「生徒との関係性を築く」-カウンセリングアプローチの活用を学ぶ-  
日 時：令和4年10月3日（月）  
場 所：大阪私学会館  
内 容：学生自身が考えて行動にうつす手助けとなるカウンセリングアプローチを学ぶ  
講 師：株式会社 ウェルネス研究所 代表取締役 青木 慶子氏  
参加者：23名
- (ウ) 第3回研修会「対人援助技法を学ぶ」-困難な状況にある生徒を救済するために①-  
日 時：令和4年12月21日（水）  
場 所：大阪私学会館  
内 容：困難な状況にある生徒を救済するためのスキルアップ研修  
講 師：東大阪大学 こども学部 こども学科 教授 潮谷 光人氏  
参加者：12名
- (エ) 第4回研修会「メンタル面で支援が必要な生徒への支援を考える」  
-困難な状況にある生徒を救済するために②-  
日 時：令和4年12月13日（火）  
場 所：大阪私学会館  
内 容：メンタル面でサポートが必要な生徒と向き合うためのスキルアップ研修  
講 師：佛教大学教育学部 臨床心理学科 准教授 中道 泰子氏  
参加者：39名
- (オ) 第5回研修会「SNSを含めたコミュニケーションについて考える」  
-対人トラブルの解決策を含む-  
日 時：令和4年10月31日（月）  
場 所：大阪私学会館  
内 容：ネットを介したコミュニケーショントラブル等の解決をめざす  
講 師：株式会社 ジェイコムウエスト 栗津 千草氏  
大専各指導員(大阪府人権擁護士) 梶山 武志氏  
参加者：13名
- (カ) 第6回研修会「支援を必要とする生徒のためのインターンシップ」第1回説明会・面談会  
日 時：令和4年7月19日（火）  
場 所：大阪私学会館  
内 容：支援を必要とする生徒のためのインターンシップ説明会と面談会  
面談者：34名  
※特定非営利活動法人大阪障害者雇用支援ネットワークとの共催事業
- (キ) 第7回研修会「様々な人権課題を学ぶ」-府立人研夏季セミナーに参画  
日 時：令和4年7月27日（水）・28日（木）  
会 場：大阪市立住まい情報センター、大阪府教育会館たかつガーデン  
参加者：460名(会員校8名)  
※大阪府立学校人権教育研究会との共賛事業
- (ク) 第8回研修会「部落問題学習」-府立人研オープンセミナー-  
-これからの部落問題学習について考える-  
日 時：令和4年9月16日（金）  
場 所：大阪府立柴島高等学校  
テーマ：「当事者の声から始める私たちの部落問題学習」～自分の言葉で伝えよう～  
講 師：NPO 法人ヒューマン・ライツ・アドバンス・堺  
米川 真以氏、西岡 功祐氏、杉本 美範氏



参加者：37名(会員校5名)

※大阪府立学校人権教育研究会との共催事業

(ケ) 第9回研修会 開催中止

(コ) 第10回研修会「支援を必要とする生徒のための進路指導担当者研修」

日時：令和4年11月25日(金)

場所：午前 4グループに分かれて企業訪問

○訪問企業先

・日本ハムキャリアコンサルティング(大阪市北区)

・パナソニック共栄(守口市)

・ヤンマーシンビオシス(大阪市北区)

・徳洲会野崎病院(大東市)

午後 エル・おおさかにて情報共有会

内容：障がい者雇用をしている企業を訪問して情報収集を行う

参加者：16名

※特定非営利活動法人大阪障害者雇用支援ネットワークとの共催事業

(サ) 第11回研修会「スクールソーシャルワークを学ぶ」

-困難な状況にある生徒を救済するために③-

日時：令和5年3月10日(金)

場所：大阪私学会館

内容：生活困窮状態にある生徒への支援や指導について学ぶ

講師：桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科 准教授 金澤 ますみ氏

参加者：10名

(シ) 第12回研修会「発達障がいの理解と就労を見据えた支援について考える」

日時：令和5年2月9日(木)

場所：大阪私学会館

内容：発達障がいの特性のある生徒への支援や指導について学ぶ

講師：公益社団法人大阪精神科診療所協会 理事

医療法人 かく・にしかわ診療所 院長 西川 瑞穂氏

参加者：21名

イ 人権研修実施状況調査及び情報提供について

各校で実施した人権教育研修会の状況調査を行い、調査結果については大阪府教育庁私学課へ情報提供を行った。

また、入試面接マニュアル「入試面接のあり方について」大専各ホームページに掲載し、人権に配慮した入試面接が実施されるよう情報提供を行った。

ウ 学校支援

大専各主催の研修会へ教職員の派遣が困難であったり、校内人権教育研修会の講師の手配に困っている会員校へ指導員が出向いて教職員研修を行った。

・学校法人立志舎 校内研修会 令和4年12月22日(木)

・中央工学校 OSAKA 校内研修会 令和4年12月26日(月)

エ 障がいのある生徒への就労支援

個別の事案ごとに会員校に対して関係機関の相談窓口の紹介などの支援を行った。

オ 会員校対象の相談(大専各ヘルプコール)窓口

会員校からの相談(人権侵害事象含む)を受け解決に向けて助言を行った。

カ 関係団体への協力(人権関係団体への協力)

- 多民族共生人権教育センター
- 世界人権宣言大阪連絡会議
- 大阪人権擁護士連絡会
- 大阪人権教育関係団体連絡会(9人研) 他

(3) 進学対策事業(実施事業等会計:公益目的事業)

高等学校等で実施するキャリア教育の取り組みについて、情報提供や協力を行い、大阪進路支援ネットワークと連携しながら効果的な事業の取り組みを行い、「高校生のための仕事発見BOOK」をリニューアルし、キャリア教育に特化した「キャリア育成BOOK」として改訂版を発刊し、大阪府内の高等学校教員等を対象に配布した。

また、冊子と併せてタブレットやPCを活用し、キャリア学習が行えるデジタル版についてもリリースを行った。

[冊子発行部数] 8,000部

(4) 令和5年新年交流互礼会の開催(法人会計)

大阪府、大阪府議会、関係団体、賛助会員等の臨席を得て、大専各会員校の設置者・代表者および教職員が一堂に集い新年交流互礼会を開催した。

日 時: 令和5年1月20日(金)

場 所: ホテルモントレラ・スール大阪

参加者: 第1部 76名、第2部 67名

(5) 大専各ホームページ公式サイト(法人会計)

大専各ホームページ公式サイトについて、不正アクセスにより不具合が発生したため、今後のwebサイト運営について協議を行った。

日 時: 令和5年3月10日(金)

場 所: 大阪私学会館

内 容: ○状況説明および復旧作業等について

公式サイトについて、不正アクセスにより不具合が発生したため、所轄の都島警察署および大阪府警サイバー対策課へ被害等の状況を相談し、今後のwebサイト運営について大専各で協議を行い、令和5年度においては事業計画・予算共に既に決定していることから令和4年度内に取り急ぎ簡易版サイトを制作し、令和6年度に各委員会と連携を図りながら、リニューアルを行うこととした。

○大専各公式サイト運営委託業者との打合せ

#### 4 高・専接続推進特別委員会(その他会計:その他事業)

専門学校入試に関する実施要項の運用について、会員校へ向け情報提供を行い、高大接続改革の状況および専門学校入試に関する各校の運用状況、3ポリシーの設定について情報収集を行うとともに、高等学校への信頼向上のため、実施校一覧を作成し開示を行った。また、必要に応じて他府県専各等へ情報提供を行い、教育の質向上や学校評価等を通じた第三者の意見を徴収しながら、専門学校教育に相応しい、入試のあり方などの策定に取り組んだ。

(1) 令和4年度専門学校入試における運用状況調査

令和4年3月16日付文書にて「専門学校入試における運用状況調査について」並びに高等学校への周知を目的とした「令和4年度 専門学校版AO入試に関する運用基準遵守校一覧」や「3つのポリシー公表校」の作成に必要な入試選考実施規定の関連資料の送付と、調査票の記入を依頼した。

調査の結果による遵守校一覧および3つのポリシー公表校一覧等を令和4年5月に文書にて大阪府内の府立・私立高等学校すべてに送付した。

(2) 各都道府県専各への情報提供

全専各総連の「高大接続改革を踏まえた専門学校の学生募集・入試に関する指針」において、他府県の連合会等へ事例として示された、大専各の入試要項およびその作成プロセス、運用状況等について、情報提供を行った。

## 5 振興対策委員会（法人会計）

大阪府専修学校等振興対策協議会と密接に連携し「大阪府における専修学校の振興とその方策」の実現に向け活動を行った。

(1) 第1回振興対策委員会

日 時：令和4年10月17日（月）

場 所：大阪私学会館

議 題：○令和4年度要望の進捗状況について

○令和5年度要望書の策定について

(2) 大阪府議会大阪維新の会への予算案要望の提出と情報交換会

令和4年12月7日（水）、担当副理事長・振興対策委員長・副委員長が大阪維新の会幹事長らに対して、次年度に向けた大阪府の予算編成等に対する事前要望及び情報交換会を行った。

【内容】

○都道府県専各の助成状況の報告

○全国知事会から国に対する地方交付税の要望についての報告

○昨年度予算要望に対する現在の進捗状況の報告

○次年度予算の要望

○その他

(3) 大阪府教育長及び大阪府議会への要望書の提出

令和4年12月27日（火）、大専各理事長並びに副理事長、振興対策委員長が大阪府教育長、大阪府議会議長・副議長及び各会派の代表者に対して、次年度に向けた大阪府の予算編成に対する要望を行った。

【要望事項】

最重点要望事項

○地方財政措置（特別交付税）に伴う職業実践専門課程認定校に対する助成措置の拡充について

・ 要望の経緯について

・ 職業教育ナンバー1に向けた助成拡充について

○専修学校専門課程質保証・向上補助金の充実について

○高等専修学校に対する助成、補助金の継続について

・ 高等専修学校の経常費助成の継続

・ 私立高等学校と同等の授業料支援補助金の継続

○各種施策実現・推進のための体制強化について

要望事項

○キャリア教育における連携促進についての支援

○専門学校に対する高等学校への認知活動について

○教職員の質向上に対する支援

○専門学校に在籍する留学生に対する支援

○専修学校高等課程（高等専修学校）に対する支援

○専修学校等に対する激甚災害法適用に対する支援

## 6 広報委員会（その他会計：広報事業）

中学校および高等学校に対し、専修学校の価値訴求および信頼向上に向け、職業教育・キャリア教育や進学に関する情報提供を行い「対外広報」と会員校間・課程間の相互理解と連携強化のための「組織内広報」の2つの観点で事業展開を行った。また、高等学校担当者等との情報交換を行い、専門学校教育に関する理解促進を図るための事業等を実施した。

(1) 広報委員会

ア 第1回広報委員会

日 時：令和4年5月20日（金）  
場 所：大阪美容専門学校  
議 題：○令和4年度事業について  
○その他

イ 第2回広報委員会

日 時：令和4年10月26日（水）  
場 所：大阪私学会館  
議 題：○令和4年度の事業進捗について  
○令和5年度進学情報カード事業について  
○令和5年度知事要望について  
○その他

(2) 専門学校進学研究会

府立・私立高等学校の進路指導担当の先生方と広報委員会委員とで進学に関する研究及び情報交換会を実施した。

ア 第1回専門学校進学研究会

日 時：令和4年10月26日（水）  
場 所：大阪私学会館  
議 題：○令和4年度広報委員会事業について  
○その他

イ 第2回専門学校進学研究会

日 時：令和5年2月15日（水）  
場 所：大阪私学会館  
議 題：○令和5年度広報委員会事業計画（案）について  
○その他

(3) 進学情報カード事業

ア 進学情報カード（専門課程）の発行

6月に令和4年進学情報カード（専門課程）を9,000部発行し、近畿各府県の高等学校等へ配布した。

イ 専門学校“OSAKA DOGAコレクション” milsil（ミルシル）の運用

大専各ホームページに接続した動画専用サイト milsil（ミルシル）を活用し、紙面では伝わり難い専門学校の教育の実態および成果、授業風景、在校生、卒業生の成長に向けた取組みなどの紹介を行った。

(4) 職業キャリア検定（FACE）

職業教育・キャリア教育を支援する教材と検定（FACE）について大阪府内の高等学校への普及および専門学校での入学前教育における活用を図った。

(5) 全国専門学校共同調査の紹介（入学者調査／卒業生調査）

各校における学生募集をはじめ、学校の諸活動の評価、見直し等に活用可能であることから、年2回全国専修学校各種学校総連合会の会員校へ周知協力をし、活用拡大を図った。

(6) 進学説明会・職業ガイダンス

milsil (ミルシル) +まなぶ職業理解

職業・職場・資格・専門学校での学びを理解するための職業紹介動画を配信した。

(7) 大専各たよりの発刊

会員校への情報提供および現況報告等について、大専各たよりを発刊した。

[メール配信：年6回]

(8) 大専各ホームページの運用支援

「センモンPRESS」運用に関する支援を適宜行い、定期的な更新箇所の見直しや中学校、高等学校教員への普及活動を行った。

## 7 大阪進路支援ネットワーク事業（その他会計：その他事業）

大阪府、大阪府教育委員会、大専各などで構成する「大阪進路支援ネットワーク」が事業計画の策定、高等学校及び専修学校の生徒や教員等に対して、構成団体による職業教育の機会を提供する各種事業を展開し、進路選択や就職活動の支援を推進した。

(1) 大阪進路支援ネットワーク会議

高校生や専修学校生の進路選択や就職活動を支援するため、大阪府、大専各、大阪府教育委員会、高等学校、大阪商工会議所、大学教授、民間企業等の委員で構成し、効果的な事業実施を行うため大阪進路支援ネットワーク会議を開催した。

ア 第1回大阪進路支援ネットワーク会議

日 時：令和4年9月29日（木）

場 所：大阪私学会館（オンライン同時開催）

議 題：○令和4年度大阪進路支援ネットワーク事業計画（案）について

○令和4年度大阪進路支援ネットワーク事業予算（案）について

○その他

・大阪府高等学校等キャリア教育セミナーについて

・キャリア教育共同研究部会の開催について

・その他

イ 第2回大阪進路支援ネットワーク会議

日 時：令和5年2月24日（金）

場 所：大阪私学会館（オンライン同時開催）

議 題：○令和4年度事業報告について

・高校生のためのキャリア育成BOOK改定版について（デジタル版）

○令和5年度事業計画（案）について

・大阪府高等学校等キャリア教育セミナーについて

○その他

(2) 大阪進路支援ネットワーク第9回「大阪府高等学校等キャリア教育セミナー」

大阪府内の府立・私立高等学校等の教員を対象に、高等学校等の現場のニーズに沿ったキャリア教育の取組みなど、教員間の情報共有の推進を図ることを目的に、高校生のキャリア教育等をテーマとしたセミナーを開催した。

日 時：令和4年8月22日（月）

場 所：大阪私学会館（オンライン同時開催）

内 容：第1部

【高校生のためのキャリア育成 BOOK 活用事例発表】

事例発表1

- ・東朋高等専修学校 山田 晃子氏
- ・大阪商業大学堺高等学校 守谷 慶祐氏

第2部

【～支援が必要な生徒への取組み～】

講演「企業での配慮ポイント～障がいのある人と働くための工夫～」

有限会社奥進システム 代表取締役 奥脇 学氏

事例紹介および取組みについて

大阪市障がい者就業・生活支援センター 山口 雄大氏

第3部

○パネルディスカッション

コーディネーター：佛教大学副学長 原 清治氏

パネリスト：東朋高等専修学校 山田 晃子氏

パネリスト：大阪商業大学堺高等学校 守谷 慶祐氏

パネリスト：有限会社奥進システム 代表取締役 奥脇 学氏

パネリスト：大阪市障がい者就業・生活支援センター 山口 雄大氏

参加者：大阪府下の高等学校教員等 約60名

### (3) キャリア教育共同研究部会

大阪進路支援ネットワークの下部組織として設置し、有識者や学校関係者を交え、大阪進路支援ネットワーク事業として、より効果的な取組みが実施できるよう検討し、中学校や高等学校等が実施しているキャリア教育の取組事例や課題等を情報交換・情報共有また、調査・研究することにより、その課題解決や、より質の高いキャリア教育の提供に向けて支援するため、共同研究部会を開催した。

#### ア 第1回キャリア教育共同研究部会会議

日 時：令和4年10月7日（金）

場 所：大阪私学会館

- 議 題：○高校生のためのキャリア育成 BOOK 改定版に向けて
- キャリア教育共同研究部会設置要綱の変更について
  - 令和4年度事業進捗状況について
    - ・第1回大阪進路支援ネットワーク会議の報告について
    - ・大阪府高等学校等キャリア教育セミナーの報告について
  - 令和5年度大阪府高等学校等キャリア教育セミナーについて
  - 第2回キャリア教育共同研究部会の開催について

#### イ 第2回キャリア教育共同研究部会会議

日 時：令和5年1月25日（水）

場 所：大阪私学会館

- 議 題：○高校生のためのキャリア育成 BOOK 改定版に向けて（継続審議）
- 令和5年度大阪府高等学校等キャリア教育セミナーについて
  - その他

## 8 教職員等研修委員会

会員校の教職員の指導力向上及び専修学校等の学校運営のあり方について、教職員、設置者・代表者を対象とした研修会を実施した。

### (1) 教職員等研修委員会（その他会計：その他事業）

#### ア 第1回教職員等研修委員会

日 時：令和4年7月20日（水）  
 場 所：大阪私学会館  
 議 題：○令和4年度事業計画について  
 ○その他

イ 第2回教職員等研修委員会

日 時：令和4年9月28日（水）  
 場 所：大阪私学会館  
 議 題：○実施報告  
 ○次年度知事要望について  
 ○今後の研修会について  
 ○その他

ウ 第3回教職員等研修委員会

日 時：令和4年11月30日（水）  
 場 所：学校法人トラベルジャーナル学園  
 議 題：○要望書について  
 ○令和4年度新任教員研修会修了認定審査  
 ○令和5年度事業計画について  
 ○その他  
 ・令和4年度「設置者・代表者研修」の研修テーマについて

(2) 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団主催 新任教員研修事業への参画

(その他会計：新任教員研修事業)

大阪府内の専修学校等の教員の資質水準および能力の向上を図るため、(一財) 職業教育・キャリア教育財団が実施する新任教員研修事業に参画し、新任教員研修会を開催した。  
 研修内容等は次のとおり。

実施日		科 目	担 当 講 師	
8月	1日	専修学校と制度	大阪府教育庁私学課 総務・専各振興グループ 総括主査	岸良 将史氏
			(一社)大阪府専修学校各種学校連合会 副理事長 高等課程部会長	岡崎 泰道氏
		総合自由科目 「専修学校教員のための個人情報保護法」	(一社)留学生総合支援協会統括部長・主席 研究員	津川 龍一氏
		総合自由科目 「人権に関する基礎知識」	(一財)大阪府 人権協会業務執行理事	柴原 浩嗣氏
	2日	専修学校における職業教育Ⅰ	(株)アトバノストコミュニケーション 代表取締役	岡井保千代氏
		専修学校における職業教育Ⅱ		
	3日	専修学校教育のあり方と授業実践Ⅰ		
専修学校教育のあり方と授業実践Ⅱ				

8 月	4 日	木	専修学校教育のあり方と授業実践Ⅲ	(株) アドバンスコミュニケーション 代表取締役	岡井保千代氏
			専修学校教育のあり方と授業実践Ⅳ		
	18 日	木	学生・教員のための実践心理Ⅰ	同志社大学 講師	梁 陽日氏
			学生・教員のための実践心理Ⅱ		
	19 日	金	学生・教員のための実践心理Ⅲ		
			総合自由科目 「不登校生への指導のあり方と教育におけるメンタルサポートを学ぶ①」		
総合自由科目 「不登校生への指導のあり方と教育におけるメンタルサポートを学ぶ②」					
場 所：大阪私学会館 参加者：39名					

(3) 教職員等研修、設置者・代表者研修事業（その他会計：その他事業）

ア 教職員対象研修会

(ア) 教職員のための指導力向上セミナー

日 時：令和4年9月29日（木）

場 所：大阪私学会館

内 容：「共通の目標に向かって助け合いながら主体的に学ぶ学生集団をつくる」

講 師：大専各指導員（大阪府人権擁護士） 梶山 武志氏

参加者：20名

(イ) 教職員のための情報交換会

日 時：令和4年11月15日（火）

場 所：大阪私学会館

内 容：教職員のための情報交換会

「学生対応・指導に関して専修学校教職員が保持する課題解決に向けた情報交換会」

講 師：大阪技能専門学校校長（大専各理事） 千代田 秋充氏

大専各指導員（大阪府人権擁護士） 梶山 武志氏

参加者：18名

イ 留学生担当職員実務者研修会

日 時：令和4年5月18日（水）

場 所：大阪私学会館

内 容：外国人留学生の在留審査手続きと申請取次に係る研修会

講 師：法務省 大阪出入国在留管理局

留学・研修審査部門 統括審査官 井原 慎治氏

参加者：29名

ウ 設置者・代表者研修会

日 時：令和5年3月30日（木）

場 所：大阪私学会館

内 容：「専修学校を取り巻く情勢について」

・学校法人制度改革の具体的方策について



- ・高等教育の修学支援新制度の見直しについて
- ・留学生関係について

講 師：全国専修学校各種学校総連合会 参与 菊田 薫氏  
参加者：58名

(4) 関係団体支援

関係団体研修への講師派遣協力

出 講：一般社団法人 部落解放・人権研究所（全6回）

9 留学生委員会(その他会計：留学生支援事業)

各学校における留学生の受け入れから卒業（就職）まで、一貫した支援を行うことを目的に事業を実施した。

(1) 留学生委員会

ア 第1回留学生委員会

日 時：令和4年8月26日（金）

場 所：アクセス梅田フォーラム

内 容：○令和4年度留学生委員会事業の進捗について  
○関西日本語学校・専門学校情報共有会について報告  
○その他

イ 第2回留学生委員会

日 時：令和5年2月10日（金）

場 所：大阪私学会館

内 容：○令和5年度留学生委員会 事業計画について  
○関西日本語学校・専門学校情報共有会について報告  
○その他

(2) 文部科学省委託事業採択前 事前ワーキング会議(2回)

日 時：令和4年4月15日（金）、令和4年5月20日（金）

場 所：アクセス梅田フォーラム、修成堀江ラボ

内 容：委託事業の検討及び運営について

(3) 日本語教育機関 進学指導担当教員のための専門学校オンライン進学相談会

日 時：令和4年7月21日（木）

場 所：オンライン開催

参加者：37名

(4) 日本語教育機関に対する専修学校職業教育の理解促進事業

～日本語教育機関との連携（出前授業の実施）～

参加者：145名

(5) 関西日本語学校・専門学校情報共有会

日本語教育を担う日本語学校と連携し、日本語教育の先にある専門教育から就職までを一貫して明確にすることで留学生誘致が強固となることから、留学生を支援している各団体とのつながりを広げ、留学生支援が実行できる体制整備を目指し、日本語学校と専門学校、外部団体と連携し情報共有会を開催した。

ア 第1回関西日本語学校・専門学校情報共有会（文部科学省委託事業採択前）

日 時：令和4年6月14日（火）

場 所：修成堀江ラボ

内 容：○(一社)京都府専修学校各種学校協会より情報提供

- (一社)大阪府専修学校各種学校連合会より情報提供
- (公社)兵庫県専修学校各種学校連合会より情報提供
- 大阪出入国在留管理局より情報提供
- 意見交換・質疑応答

参加者：14名

イ 第2回関西日本語学校・専門学校情報共有会（文部科学省委託事業採択後）

日時：令和4年9月9日（金）

場所：修成堀江ラボ

- 内容：○(一社)京都府専修学校各種学校協会より情報提供  
○(一社)大阪府専修学校各種学校連合会より情報提供  
○大阪観光局より情報提供  
○大阪出入国在留管理局より情報提供  
○意見交換

参加者：13名

ウ 第3回関西日本語学校・専門学校情報共有会（文部科学省委託事業採択後）

日時：令和5年1月27日（金）

場所：大阪私学会館

- 内容：○(一社)大阪府専修学校各種学校連合会より情報提供  
○大阪出入国在留管理局より情報提供  
○意見交換

参加者：19名

(6) 令和4年度文部科学省委託事業「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備として、大阪型「専修学校留学生の学びの支援推進事業」2022として令和4年度文部科学省委託事業を受託し、大阪府、大阪観光局、日本貿易振興機構 大阪本部（ジェトロ大阪）、大阪商工会議所、日本語教育振興協会などの各団体と連携し各種事業を展開した。

ア 実施委員会

(ア) 第1回実施委員会

日時：令和4年8月26日（金）

場所：アクセス梅田フォーラム

内容：事業実施の検討及び運営について

(イ) 第2回実施委員会

日時：令和5年2月10日（金）

場所：大阪私学会館（オンライン同時開催）

内容：事業実施の検討及び運営について

イ ワーキング会議(全9回)

日時：令和4年6月17日（金）、令和4年7月15日（金）、  
令和4年8月26日（金）、令和4年9月16日（金）、  
令和4年10月14日（金）、令和4年11月18日（金）、  
令和4年12月16日（金）、  
令和5年1月27日（金）、令和5年2月10日（金）

場所：大阪私学会館およびアクセス梅田フォーラム

内容：委託事業の検討及び運営について

ウ 誘致広報事業

(ア) 留学生支援サイトの維持拡充

留学生の入口から出口までを繋ぐ情報発信プラットフォーム「大専各留学生支援サイト」の多

言語化維持（10言語対応）、留学生受入れ校一覧の更新、来日前学生と留学生採用企業の利用促進を目的とした新規情報ページを公開し、日本にいる留学生の利便性の向上に加え、来日前学生および採用意欲のある企業への情報提供における基幹メディアとした。

(イ) 映像コンテンツの制作・配信

職業教育への理解促進や日本への進学・就職意欲を喚起、ひいては企業の採用意欲の啓発を目的に、様々なシーンで活用できる映像コンテンツを制作および配信。

- ・「大阪の専門学校で学び、社会で活躍する卒業生インタビュー」の制作 翻訳および字幕追加12本
- ・ダイジェスト版の制作1本

(ウ) SNSマーケティング

ターゲット国（ベトナム、インドネシア、ネパール）へ向けて、SNS（Facebook、Instagram）を活用し情報発信。大阪および専門学校の認知拡大と興味喚起を図り、日本留学希望者の母集団を拡大。（大専各留学生支援サイトへの誘導・SNS閲覧数を中心に効果検証）

- ・フォロー総数：200、リーチ総数：31,577

(エ) 進学情報カードおよび大専各留学生支援サイトへの誘引ツールの制作・配布

大専各留学生支援サイトをより多くのユーザーに閲覧してもらうため、国内向けの誘引施策としてサイトへの誘引を促す広報ツールおよび、専門学校の留学生受け入れ状況を一覧化した情報誌を作成し、日本語教育機関、企業、行政、在日領事館等の関係機関へ配布。

- ・「留学生受入れ校一覧専門学校情報カード」  
[印刷部数] 1,500部  
発送先：日本語学校、会員校、全国専各連事務局等、その他
- ・「留学生採用検討企業向け誘引ツール」  
[印刷部数] 5,000部  
発送先：企業、会員校、全国専各連事務局等、その他
- ・「日本語教育機関向け誘引ツール」  
[印刷部数] 5,000部  
発送先：日本語学校、会員校、全国専各連事務局等、その他

エ 教育支援事業

(ア) 市場動向調査

「留学生に関する実態把握アンケート調査報告書」（5種のアンケート調査を実施）

- ・専修学校対象（回答数：102）
- ・日本語教育機関対象（回答数：104）
- ・企業対象（回答数：606）
- ・留学生対象（回答数：736）
- ・海外現地教育機関（回答数：774）

(イ) 海外教育機関へのオンライン出前授業

オンラインを利用し海外現地の日本語教育機関に「出前授業」を提供するため、2022年12月5日から12月14日のうち8日間にわたり、ベトナム現地の教育機関（大学、高等学校、日本語センター）で日本語を学んでいる学生263名を対象に専門学校9校による出前授業を実施。

(ウ) 専門学校教職員向けオンラインセミナー

- a 第1回「今こそ考える留学生支援—コロナ禍における専門学校のチャレンジ—  
～DX人材としての留学生の可能性～」  
日 時：令和4年6月30日（木）  
場 所：オンライン開催  
参加者：111名

- b 第2回「今こそ考える留学生支援—コロナ禍における専門学校のチャレンジ—  
～ポストコロナを見越した募集関係～」  
日 時：令和4年8月25日（木）  
場 所：オンライン開催  
参加者：142名
- c 第3回「今こそ考える留学生支援—コロナ禍における専門学校のチャレンジ—  
～専門教育、就職のための日本語サポート教育～」  
日 時：令和4年10月27日（木）  
場 所：オンライン開催  
参加者：93名
- d 第4回「今こそ考える留学生支援—コロナ禍における専門学校のチャレンジ—  
～留学生の採用拡大に向けて～」  
日 時：令和5年1月26日（木）  
場 所：オンライン開催  
参加者：146名

#### オ 就職支援事業

##### (ア) 外国人留学生採用セミナー・交流会

外国人留学生採用フォーラム～これからの多様化する社会に新たな価値を見出す人材とは～

日 時：令和4年10月28日（金）

場 所：大阪私学会館（会場・オンライン同時開催）

内 容：日本で就職を目指す留学生の情報を企業の人事採用担当者に提供する。

参加者：256名（会場67名・オンライン189名）

#### カ その他

##### (ア) 成果報告書の作成

令和4年度留学生学びの支援推進事業における各取り組みの事業結果をとりまとめ、成果報告書を作成し、会員校及び全国専各連事務局等へ発送した。

〔印刷部数〕290部

##### (イ) 事業PR動画の作成

令和4年度留学生学びの支援推進事業における事業について、簡潔にまとめた動画を作成した。

### 10 高等課程部会（その他会計：その他事業）

高等専修学校が高等学校と同じように進路の選択肢となるよう、広報活動を実施した。また、大阪府における教育関連施策等に関する情報を共有し、部会としての意志統一を図った。

#### (1) 高等課程部会会議

##### ア 第1回高等課程部会

日 時：令和4年5月16日（月）

場 所：大阪府私学会館

議 題：○私学課より情報提供

○中学校長会 会長訪問の報告について

○令和4年度事業計画の確認

○その他

##### イ 第2回高等課程部会

日 時：令和4年9月7日（水）

場 所：ユービック情報専門学校

議 題：○私学課より情報提供

○中学校進路指導主事との連絡協議会の報告について

○中学校校長会との連絡協議会の報告について

○中学校教員研修会の報告について

○高等専修学校合同相談会の報告について

○令和5年度知事（教育庁）要望書について

○その他

・中学校進路指導担当者連絡会について

・吹田市進路指導連絡協議会高等学校訪問見学研修会について

#### ウ 第3回高等課程部会

日 時：令和4年11月28日（月）

場 所：大阪私学会館

議 題：○私学課より情報提供

○令和5年度事業計画・予算（案）について

○令和5年度知事（教育長）要望書について

○その他

・中学校進路指導主事との連絡協議会について

・秋冬オープンスクールチラシについて

・令和5年度高等課程部会の体制について

・職業体験講座の実施について

#### (2) 第3回中学校進路指導担当者連絡会（大阪府教育庁市町村教育室小中学校課主催）

大阪府教育庁市町村教育室小中学校課が主催する中学校進路指導担当者連絡会議において高等専修学校が行う職業教育に関する情報提供を行い、高等専修学校に対する理解促進を図った。

日 時：令和4年7月7日（木）

場 所：大阪府教育センター

対象者：中学校の進路指導担当教員（進路指導主事をはじめを務める者）

内 容：○高等専修学校（専修学校高等課程）とは

#### (3) 第8回中学校校長会と大専各高等課程部会連絡協議会

中学校卒業後の進路として、高等専修学校の存在や教育内容等について、中学校教員の方々に知っていただくための活動として協議会を行った。また、意見交換等を通し理解促進を図った。

日 時：令和4年7月12日（火）

場 所：大阪YMCA国際専門学校

議 題：○高等専修学校（専修学校高等課程）とは

○高等専修学校（専修学校高等課程）の事例発表について

・大阪YMCA国際専門学校

・大阪情報コンピュータ高等専修学校

○高等課程部会の取組紹介等について

○質疑応答及び協議

○その他

・大阪YMCA国際専門学校 見学

#### (4) 第7回中学校教員研修会「高等専修学校ってなんだろう」

中学校教員を対象に事例発表を中心とした教員研修会を開催し、高等専修学校に対する理解促進を図った。

日 時：令和4年7月27日（水）

場 所：大阪私学会館

内 容：○高等専修学校制度について

大阪府教育庁私学課 参事 柳田 典昭氏

○事例発表

・「好きなこと」を活かして輝くために」

中央学園高等専修学校 教頭 後藤 将治氏

・「プロジェクト授業の取組みについて」

大阪情報コンピュータ高等専修学校 副校長 泉本 啓三氏

○パネルディスカッション

・会員校5校から在校生5名によるディスカッション

○質疑応答

参加者：114名

(5) 中学校進路指導主事と大専各高等課程部会の連絡協議会

中学校進路指導主事を対象に高等専修学校が行う職業教育に関する事業等を紹介し、進路指導等に関する情報交換や課題の検討などを行った。

ア 第4回連絡協議会

日 時：令和4年6月20日（月）

場 所：東朋高等専修学校

内 容：○高等課程部会の取組みと事業報告について

○高等専修学校の事例発表

・東朋高等専修学校

・大阪技能専門学校

○高等課程部会の取組紹介等について

○質疑応答及び協議

○その他

・東朋高等専修学校 見学

イ 第5回連絡協議会

日 時：令和4年11月9日（水）

場 所：近畿情報高等専修学校

内 容：○高等専修学校を取り巻く現状について

○高等専修学校の事例発表

・NRB日本理容美容専門学校

・近畿情報高等専修学校

○高等課程部会の取組紹介等について

○質疑応答及び協議

○その他

・近畿情報高等専修学校 見学

(6) 第2回高等学校訪問見学研修会の協力

吹田市教育委員会、吹田市進路指導協議会が主催する吹田市中学校教員の研修会において、高等専修学校が行う職業教育に関する情報提供を行い、高等専修学校に対する理解促進を図った。

日 時：令和4年8月5日（金）

場 所：大阪府立吹田高等学校

対象者：吹田市中学校教員（新規採用あるいは進路指導の経験が少ない者）

内 容：○高等専修学校（専修学校高等課程）とは

(7) 令和4年度「高等専修学校オープンスクール」（13歳からの職業体験学習会）

夏季休暇及び秋季に中学校の生徒、教員ならびに保護者を対象とする職業体験学習会を実施した。高等専修学校の特色ある教育をとおして、教育内容等に対する理解を深めた。

夏季実施分は7月発行の「高等専修学校ってなんだろう」冊子に各校で実施するオープンスクールの一覧を掲載し、秋季実施分についてはチラシを11,000部作成し、11月に府内の全中学校

へ発送した。

(8) 進路指導資料の情報提供

令和4年11月大阪府公立中学校長会発行の入試資料「進路指導資料」に会員校の情報を掲載した。

(9) 「高等専修学校ってなんだろう」の発行

令和4年7月に「高等専修学校ってなんだろう〈2023年度入学対象用〉」を発行し、大阪府下の中学校535校に配布した。

〔発行部数〕6,000部

(10) 第1回高等専修学校合同相談会

高等専修学校の特色や魅力など学校選びに役立つ情報を紹介することにより、中学校卒業後の進路の1つであり、特色のある教育を行っている高等専修学校について理解促進を図った。

日 時：令和4年8月4日（木）

場 所：シェラトン都ホテル大阪

対象者：大阪府下の中学生及び保護者、中学校教員

参加校：19校

来場者：115名

(11) 職業講和の実施

中学校からの依頼により、中学生を対象とした職業講和を行った。

日 時：令和4年11月8日（火）

実施校：柏原市立国分中学校

対象者：2年生 40名

協力校：小出美容専門学校

(12) 職業体験講座の実施

中学校からの依頼により、中学生を対象とした職業体験講座を行った。

実施校は次のとおり。

No.	開 催 日	学 校 名	内 容	参加人数等
1	令和4年 5月27日（金）	茨木市立豊川中学校	体験講座実施 5講座	2年生 70名
2	令和4年 7月 6日（水）	八尾市立高美中学校	体験講座実施 6講座	2年生 94名
3	令和4年10月21日（金）	茨木市立東中学校	体験講座実施 9講座	2年生 182名
4	令和4年10月28日（金）	茨木市立平田中学校	体験講座実施 9講座	2年生 170名
5	令和4年11月 7日（月）	豊中市立第2中学校	体験講座実施 9講座	2年生 174名
6	令和4年11月11日（金）	大阪市立住吉中学校	体験講座実施 7講座	2年生 110名
7	令和4年11月18日（金）	八尾市立亀井中学校	体験講座実施 8講座	2年生 155名
8	令和4年12月 6日（火）	東大阪市立池島学園	体験講座実施 5講座	2年生 80名
9	令和4年12月 9日（金）	茨木市立北陵中学校	体験講座実施 6講座	2年生 117名
10	令和5年 1月23日（月）	茨木市立太田中学校	体験講座実施 8講座	2年生 147名
11	令和5年 1月26日（木）	寝屋川市立第5中学校	体験講座実施 12講座	2年生 216名
12	令和5年 2月 1日（水）	大阪市立茨田中学校	体験講座実施 12講座	2年生 229名
13	令和5年 2月10日（金）	八尾市立曙川中学校	体験講座実施 7講座	2年生 133名
14	令和5年 2月15日（水）	八尾市立八尾中学校	体験講座実施 9講座	2年生 179名
15	令和5年 2月17日（金）	八尾市立曙川南中学校	体験講座実施 9講座	1年生 176名

16	令和5年 2月24日 (金)	八尾市立久宝寺中学校	体験講座実施	9 講座	1 年生 1 6 5 名
17	令和5年 3月 3日 (金)	大阪市立阿倍野中学校	体験講座実施	7 講座	1 年生 1 2 0 名
18	令和5年 3月 6日 (月)	八尾市立東中学校	体験講座実施	5 講座	1 年生 9 8 名
19	令和5年 3月 8日 (水)	八尾市立大正中学校	体験講座実施	9 講座	1 年生 1 6 5 名
20	令和5年 3月15日 (木)	八尾市立上之島中学校	体験講座実施	6 講座	1 年生 1 1 1 名

### 1 1 財務委員会 (法人会計)

大専各にかかる予算の編成、決算書類の審査を行うとともに、日常の会計処理について定期的に検査を実施した。

### 1 2 新型コロナワクチン職域接種事業 (その他会計：その他事業)

新型コロナウイルスのワクチン追加接種について、(学) 森ノ宮医療大学の協力により、職域接種を希望する会員校に対して職域接種 (追加接種) 事業を実施した。

日 時：令和4年5月9日 (月)～令和4年5月13日 (金) のうち5日間

場 所：学校法人 森ノ宮医療大学

接種人数：844名

### 1 3 全専各総連近畿ブロック協議会 (法人会計)

#### (1) 全専各総連近畿ブロック協議会会長会議

日 時：令和4年4月27日 (水)

場 所：ホテルグランヴィア和歌山

議 題：○令和3年度奈良大会決算報告について  
○令和4年度和歌山大会開催について  
○その他

#### (2) 全専各総連近畿ブロック協議会和歌山大会

日 時：令和4年7月25日 (月)

場 所：ホテルグランヴィア和歌山

内 容：○文部科学省行政報告「最近の動向について」  
○全国専修学校各種学校総連合会「中央の情勢報告」について  
○各府県からの活動事例発表およびパネルディスカッション  
・京都府・大阪府・奈良県・兵庫県  
○その他

参加者：文科省、近畿各府県の行政担当課、会員校等 105名



令和4年度 歴日記録

月日	場所	担当委員会等	内容
4. 14 (木)	大阪私学会館 402	大専各	第1回正・副理事長会
4. 15 (金)	アクセス 梅田フォーラム	留学生委員会	第1回ワーキング会議
4. 18 (月)	大専各事務局	財務委員会	会計伝票検査
4. 26 (火)	大阪私学会館 307	大専各	第1回常任理事会
4. 27 (水)	ホテルグランヴィア和歌山	近畿ブロック協議会	第1回近畿ブロック協議会会長会議
4. 28 (木)	オンライン	総務委員会	人権教育研修会1
5. 16 (月)	大専各事務局	財務委員会	令和3年度事業報告・決算報告監査
"	大阪私学会館 302-303	高等課程部会	第1回高等課程部会
5. 18 (水)	大阪私学会館 4階講堂	教職員等研修委員会	留学生担当教職員申請取次者研修会
5. 20 (金)	修成学園 堀江ラボ	留学生委員会	第2回ワーキング会議
"	大阪美容専門学校	広報委員会	第1回広報委員会
5. 25 (木)	大阪私学会館 302-303	大専各	5月定例理事会
6. 1 (水)	大阪府	大専各	職業実践専門課程を有する専門学校に対する補助制度についての要望書提出
6. 9 (木)	大阪私学会館 402	大専各	第2回正・副理事長会
6. 14 (火)	修成学園 堀江ラボ	留学生委員会	第1回関西日本語学校・専門学校情報共有会
6. 17 (金)	アクセス 梅田フォーラム	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第1回ワーキング会議
6. 20 (月)	東朋高等専修学校	高等課程部会	第1回中学校進路指導主事との連絡協議会
6. 27 (月)	大阪私学会館 301-303	大専各	第91回通常総会
"	大阪私学会館 401	大専各	臨時理事会
6. 30 (木)	オンライン	留学生委員会	専門学校教職員向けオンラインセミナー①
7. 12 (火)	大阪YMCA国際専門学校	高等課程部会	中学校校長会との連絡協議会
7. 13 (水)	大阪私学会館 302-303	大専各	7月定例理事会
7. 15 (金)	アクセス 梅田フォーラム	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第2回ワーキング会議
7. 19 (火)	大阪私学会館 301-303	総務委員会	人権教育研修会6 (第1回面談会)
7. 20 (水)	大阪私学会館 307	教職員等研修委員会	第1回教職員等研修委員会
7. 21 (木)	オンライン	留学生委員会	日本語教育機関教員向けオンライン進学相談会
7. 25 (月)	ホテルグランヴィア和歌山	近畿ブロック協議会	近畿ブロック協議会和歌山大会
7. 27 (水)	大阪私学会館 4階講堂	高等課程部会	中学校教員研修会
"	大阪府教育会館たかつガーデン他	総務委員会	人権教育研修会7 (府立人研 夏季セミナー協賛)
7. 28 (木)	"	"	"
8. 1 (月)	大阪私学会館 301-303	教職員等研修委員会	新任教員研修①
8. 2 (火)	大阪私学会館 301-303	教職員等研修委員会	新任教員研修②
8. 3 (水)	大阪私学会館 301-303	教職員等研修委員会	新任教員研修③
8. 4 (木)	大阪私学会館 301-303	教職員等研修委員会	新任教員研修④
"	シェラトン都ホテル	高等課程部会	高等専修学校合同相談会
8. 18 (木)	大阪私学会館 301-303	教職員等研修委員会	新任教員研修⑤
8. 19 (金)	大阪私学会館 301-303	教職員等研修委員会	新任教員研修⑥
8. 22 (月)	大阪私学会館 4階講堂、オンライン	大阪進路支援ネットワーク	大阪府高等学校等キャリア教育セミナー
8. 25 (木)	オンライン	留学生委員会	専門学校教職員向けオンラインセミナー②

月日	場所	担当委員会等	内容
8. 25 (木)	エル・おおさか	総務委員会	人権教育研修会6 (第2回面談会)
8. 26 (金)	アクセス 梅田フォーラム	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第3回ワーキング会議
"	"	留学生委員会	第1回留学生委員会
"	"	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第1回実施委員会
9. 7 (水)	ユービック情報専門学校	高等課程部会	第2回高等課程部会
9. 9 (金)	修成学園 堀江ラボ	留学生委員会	第2回関西日本語学校・専門学校情報共有会
9. 14 (木)	大阪私学会館 301-302	大専各	9月定例理事会
9. 16 (金)	大阪私学会館 301-303	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第4回ワーキング会議
"	大阪府立柴島高等学校	総務委員会	人権教育研修会8 (府立人研との協賛事業)
9. 28 (水)	大阪私学会館 307	教職員等研修委員会	第2回教職員等研修委員会
9. 29 (木)	大阪私学会館 302-303	教職員等研修委員会	教職員のための指導力向上セミナー
"	大阪私学会館 307	大阪進路支援ネットワーク	第1回大阪進路支援ネットワーク会議
10. 3 (月)	大阪私学会館 301-303	総務委員会	人権教育研修会2
10. 7 (金)	大阪私学会館 307	大阪進路支援ネットワーク	第1回キャリア教育共同研究部会
10. 14 (金)	アクセス 梅田フォーラム	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第5回ワーキング会議
10. 17 (月)	大阪私学会館 307	振興対策委員会	第1回振興対策委員会
10. 26 (水)	大阪私学会館 308	広報委員会	第2回広報委員会
"	大阪私学会館 302-303	"	第1回専門学校進学研究会
10. 27 (木)	オンライン	留学生委員会	専門学校教職員向けオンラインセミナー③
10. 28 (金)	大阪私学会館 4階講堂、オンライン	留学生委員会	外国人留学生採用フォーラム
10. 31 (月)	大阪私学会館 301-303	総務委員会	人権教育研修会5
"	大阪私学会館 402	大専各	第3回正・副理事長会
11. 9 (水)	近畿情報高等専修学校	高等課程部会	第2回中学校進路指導主事との連絡協議会
11. 15 (火)	大阪私学会館 302-303	教職員等研修委員会	教職員のための情報交換会
11. 16 (水)	大阪私学会館 301、オンライン	大専各	11月定例理事会
11. 18 (金)	大阪私学会館 301-303	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第6回ワーキング会議
11. 25 (金)	日本ハムキャリアコンサルティング(株)他	総務委員会	人権教育研修会10 (企業視察)
11. 28 (月)	大阪私学会館 401	高等課程部会	第3回高等課程部会
11. 30 (水)	学校法人トラベルジャーナル学園 3号館	教職員等研修委員会	第3回教職員等研修委員会
12. 13 (火)	大阪私学会館 301-303	総務委員会	人権教育研修会4
12. 16 (金)	大阪私学会館 301-303	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第7回ワーキング会議
12. 21 (水)	大阪私学会館 302-303	総務委員会	人権教育研修会3
12. 27 (火)	大阪府	振興対策委員会	大阪府教育庁及び大阪府議会への要望書の提出
1. 10 (火)	大阪私学会館 4階講堂	公益) 大阪府私学総連合会	大阪私学新春互礼会
1. 17 (火)	大阪私学会館 301、オンライン	大専各	1月定例理事会
1. 20 (金)	ホテルモントレ ラ・スール大阪	大専各	新年交流互礼会
1. 25 (木)	大阪私学会館 307	大阪進路支援ネットワーク	第2回キャリア教育共同研究部会
1. 26 (木)	オンライン	留学生委員会	専門学校教職員向けオンラインセミナー④
1. 27 (金)	大阪私学会館 301-303	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第8回ワーキング会議

月日	場所	担当委員会等	内容
1. 27 (金)	大阪私学会館 301-303	留学生委員会	第3回関西日本語学校・専門学校情報共有会
1. 30 (月)	大専各事務局	財務委員会	会計伝票検査
2. 9 (木)	大阪私学会館 301-303	総務委員会	人権教育研修会12
2. 10 (金)	大阪私学会館 301-303	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第9回ワーキング会議
"	大阪私学会館 307	留学生委員会	第2回留学生委員会
"	大阪私学会館 307	留学生委員会	専修学校留学生の学びの支援推進事業 第2回実施委員会
2. 15 (水)	大阪私学会館 302-303	広報委員会	第2回専門学校進学研究会
2. 22 (水)	大阪私学会館 307	大専各、財務委員会	第2回常任理事会・財務委員会合同会議
2. 24 (金)	大専各事務局	留学生委員会	文科省委託事業監査
"	大阪私学会館 307、オンライン	大阪進路支援ネットワーク	第2回大阪進路支援ネットワーク会議
3. 1 (水)	大阪私学会館 302-303	大専各	3月定例理事会
3. 10 (金)	大阪私学会館 302-303	総務委員会	人権教育研修会11
3. 30 (木)	大阪私学会館 301-303	大専各	第92回通常総会
"	大阪私学会館 301-303	教職員等研修委員会	設置者・代表者研修会

第2号議案 令和4年度決算報告(案)及び監査報告について

I 財務諸表の部

貸借対照表

令和5年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
預金			
普通預金			
普通預金 三菱UFJ銀行	30,673,971	17,617,556	13,056,415
普通預金 みずほ銀行	2,745,299	9,782,916	△7,037,617
普通預金合計	33,419,270	27,400,472	6,018,798
定期預金			
定期預金 三菱UFJ銀行	25,000,000	25,000,000	0
定期預金 みずほ銀行	5,000,000	5,000,000	0
定期預金合計	30,000,000	30,000,000	0
預金合計	63,419,270	57,400,472	6,018,798
未収入金	21,831,090	20,417,245	1,413,845
立替金	248,827	274,321	△25,494
前払金	18,764,030	17,475,221	1,288,809
流動資産合計	104,263,217	95,567,259	8,695,958
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産定期預金 三菱UFJ銀行	271,474	271,474	0
基本財産合計	271,474	271,474	0
(2)特定資産			
退職給与引当預金 三菱UFJ銀行	22,053,000	20,026,000	2,027,000
特定資産合計	22,053,000	20,026,000	2,027,000
(3)その他固定資産			
什器備品	69,309	9	69,300
電話加入権	74,984	74,984	0
その他固定資産合計	144,293	74,993	69,300
固定資産合計	22,468,767	20,372,467	2,096,300
資産合計	126,731,984	115,939,726	10,792,258
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
未払金	26,492,636	19,570,874	6,921,762
未払金合計	26,492,636	19,570,874	6,921,762
預り金			
預り金	0	88,000	△88,000
預り金合計	0	88,000	△88,000
流動負債合計	26,492,636	19,658,874	6,833,762
2. 固定負債			
退職給与引当金	22,053,000	20,026,000	2,027,000
固定負債合計	22,053,000	20,026,000	2,027,000
負債合計	48,545,636	39,684,874	8,860,762
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	78,186,348	76,254,852	1,931,496
(うち基本財産への充当額)	(271,474)	(271,474)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(22,053,000)	(20,026,000)	(2,027,000)
正味財産合計	78,186,348	76,254,852	1,931,496
負債及び正味財産合計	126,731,984	115,939,726	10,792,258

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>受取補助金等</b>	<b>21,048,806</b>	<b>19,748,001</b>	<b>1,300,805</b>
TCE財団教員研修事業補助金	408,373	525,258	△116,885
文部科学省受託収益	20,640,433	19,222,743	1,417,690
<b>事業収益</b>	<b>15,441,483</b>	<b>24,327,658</b>	<b>△8,886,175</b>
情報誌広告料収益	12,408,000	7,793,500	4,614,500
新年交流互礼会事業会費収益	720,000	510,000	210,000
専修学校教員研修事業受講料収益	684,000	576,000	108,000
専修学校教員研修事業認定料収益	81,600	66,300	15,300
高等課程合同説明会事業費収益	434,060	0	434,060
近畿ブロック大会事業会費収益	270,000	414,000	△144,000
教職員研修事業受講料収益	122,000	304,000	△182,000
留学生支援事業協力金収益	429,000	1,155,000	△726,000
職域接種事業収益	292,823	13,508,858	△13,216,035
<b>受取会費</b>	<b>40,353,487</b>	<b>39,147,005</b>	<b>1,206,482</b>
入会金	0	75,000	△75,000
会費	29,643,307	29,864,805	△221,498
高等課程負担会費	10,543,370	9,093,390	1,449,980
専門課程負担会費	166,810	113,810	53,000
<b>賛助会費収益</b>	<b>1,022,400</b>	<b>1,045,000</b>	<b>△22,600</b>
入会金収益	33,000	55,000	△22,000
賛助会費収益	989,400	990,000	△600
<b>雑収益</b>	<b>7,187,091</b>	<b>8,714,166</b>	<b>△1,527,075</b>
表彰申請手数料収益	673,600	707,200	△33,600
受取利息	1,333	1,292	41
TCE財団還付金収益	1,472,605	1,577,120	△104,515
入学者共同調査等還付金収益	2,095,125	2,653,692	△558,567
事務手引受取手数料収益	60,500	1,311,200	△1,250,700
受託事業事務負担還付金収益	1,747,522	1,284,903	462,619
他団体講師料収益	150,480	180,920	△30,440
その他事業配当金収益	703,328	656,800	46,528
雑収益	35,278	91,519	△56,241
全専各総連交付金収益	247,320	249,520	△2,200
<b>経常収益計</b>	<b>85,053,267</b>	<b>92,981,830</b>	<b>△7,928,563</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>70,390,192</b>	<b>73,200,827</b>	<b>△2,810,635</b>
職員給与手当	17,660,824	17,350,991	309,833
諸手当	552,364	552,364	0
法定福利費	3,007,396	2,858,480	148,916
退職給付費用	1,581,060	918,060	663,000
報償費	1,026,067	1,041,081	△15,014
旅費交通費	50,130	45,800	4,330
消耗品費	60,711	122,491	△61,780
印刷製本費	10,011,618	10,152,203	△140,585
会議費	7,177	23,056	△15,879
通信費	2,459,731	2,137,857	321,874
賃借料	1,462,476	1,671,184	△208,708
会場賃借料	1,797,902	1,127,268	670,634
補修等分担金	2,068,968	2,068,968	0

光熱水費	190,349	181,066	9,283
委託費	5,950,750	649,550	5,301,200
雑費	21,284	27,734	△6,450
租税公課	1,785,742	1,353,931	431,811
受託費	20,640,433	19,222,743	1,417,690
職域接種事業費	55,210	11,696,000	△11,640,790
<b>管理費</b>	<b>12,731,579</b>	<b>17,698,045</b>	<b>△4,966,466</b>
職員給与手当	4,981,258	4,893,870	87,388
諸手当	155,796	155,796	0
法定福利費	848,240	806,238	42,002
退職給付費用	445,940	258,940	187,000
旅費交通費	20,800	61,180	△40,380
消耗品費	264,785	468,643	△203,858
印刷製本費	321,750	291,940	29,810
会議費	364,130	506,494	△142,364
通信費	436,216	425,084	11,132
賃借料	412,494	471,361	△58,867
慶弔費	33,000	11,000	22,000
会場賃借料	1,252,631	893,134	359,497
補修等分担金	365,112	365,112	0
光熱水費	33,591	31,952	1,639
諸会費	168,600	158,600	10,000
雑費	175,176	178,643	△3,467
委託費	1,766,900	7,107,120	△5,340,220
事務委託費	433,950	330,000	103,950
租税公課	243,510	238,929	4,581
減価償却費	7,700	44,009	△36,309
<b>経常費用計</b>	<b>83,121,771</b>	<b>90,898,872</b>	<b>△7,777,101</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,931,496</b>	<b>2,082,958</b>	<b>△151,462</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,931,496	2,082,958	△151,462
一般正味財産期首残高	76,254,852	74,171,894	2,082,958
一般正味財産期末残高	78,186,348	76,254,852	1,931,496
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	78,186,348	76,254,852	1,931,496



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 公益法人会計基準の適用

平成24年度から公益法人会計基準（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は定額法で減価償却を行う。

但し、平成23年3月31日以前に取得したものについては旧定額法による。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は職員の期末自己都合要支給額の100%を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込み処理方法とする。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理により行う。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	271,474	0	0	271,474
小 計	271,474	0	0	271,474
特定資産				
退職給付引当預金	20,026,000	2,027,000	0	22,053,000
小 計	20,026,000	2,027,000	0	22,053,000
合 計	20,297,474	2,027,000	0	22,324,474

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対 応する額
基本財産				
基本財産定期預金	271,474	0	271,474	0
小 計	271,474	0	271,474	0
特定資産				
退職給付引当預金	22,053,000	0	22,053,000	22,053,000
小 計	22,053,000	0	22,053,000	22,053,000
合 計	22,324,474	0	22,324,474	22,053,000



4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,901,970	1,832,661	69,309
合計	1,901,970	1,832,661	69,309

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
専教振教員研修事業補助金	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団	0	408,373	408,373	0	一般正味財産
文部科学省受託事業補助金(専修学校留学生の学びの支援推進事業)	文部科学省	0	20,640,433	20,640,433	0	一般正味財産
合計		0	21,048,806	21,048,806	0	

財 産 目 録

令和5年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
預金			
普通預金			
普通預金 三菱UFJ銀行	30,673,971		
普通預金 みずほ銀行	2,745,299		
普通預金合計	33,419,270		
定期預金			
定期預金 三菱UFJ銀行	25,000,000		
定期預金 みずほ銀行	5,000,000		
定期預金合計	30,000,000		
預金合計	63,419,270		
未収入金	21,831,090		
立替金	248,827		
前払金	18,764,030		
流動資産合計		104,263,217	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金 三菱UFJ銀行	271,474		
基本財産合計	271,474		
(2) 特定資産			
退職給与引当預金 三菱UFJ銀行	22,053,000		
特定資産合計	22,053,000		
(3) その他固定資産			
什器備品	69,309		
電話加入権	74,984		
その他固定資産合計	144,293		
固定資産合計		22,468,767	
資産合計			126,731,984
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
未払金	26,492,636		
未払金合計	26,492,636		
流動負債合計		26,492,636	
2. 固定負債			
退職給与引当金	22,053,000		
固定負債合計		22,053,000	
負債合計			48,545,636
正味財産			78,186,348

II 収支計算書の部

収 支 計 算 書

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1 事業活動収入</b>				
<b>1 補助金等収入</b>	<b>21,080,433</b>	<b>21,048,806</b>	<b>31,627</b>	
T C E財団教員研修事業補助金収入	440,000	408,373	31,627	
文部科学省受託収入	20,640,433	20,640,433	0	*
<b>2 事業収入</b>	<b>13,553,500</b>	<b>15,441,483</b>	<b>△1,887,983</b>	
情報誌広告料収入	9,806,500	12,408,000	△2,601,500	
新年交流互礼会事業会費収入	1,500,000	720,000	780,000	
専修学校教員研修事業受講料収入	630,000	684,000	△54,000	
専修学校教員研修事業認定料収入	102,000	81,600	20,400	
高等課程合同相談会事業費収入	495,000	434,060	60,940	
近畿ブロック大会事業会費収入	360,000	270,000	90,000	
教職員研修事業受講料収入	0	122,000	△122,000	
留学生支援事業協力金収入	660,000	429,000	231,000	
職域接種事業収入	0	292,823	△292,823	
<b>3 会費収入</b>	<b>38,110,000</b>	<b>40,353,487</b>	<b>△2,243,487</b>	
会費収入	29,090,000	29,643,307	△553,307	
高等課程負担会費収入	8,910,000	10,543,370	△1,633,370	
専門課程負担会費収入	110,000	166,810	△56,810	
<b>4 賛助会費収入</b>	<b>1,078,000</b>	<b>1,022,400</b>	<b>55,600</b>	
入会金収入	22,000	33,000	△11,000	
賛助会費収入	1,056,000	989,400	66,600	
<b>5 雑収入</b>	<b>7,565,522</b>	<b>7,187,091</b>	<b>378,431</b>	
表彰申請手数料収入	600,000	673,600	△73,600	
受取利息収入	2,000	1,333	667	
T C E財団還付金収入	1,500,000	1,472,605	27,395	
入学者共同調査等還付金収入	2,776,000	2,095,125	680,875	
事務手引受取手数料収入	0	60,500	△60,500	
受託事業事務負担還付金収入	1,747,522	1,747,522	0	*
他団体講師料収入	200,000	150,480	49,520	
その他事業配当金収入	400,000	703,328	△303,328	
雑収入	120,000	35,278	84,722	
全専各総連交付金収入	220,000	247,320	△27,320	
<b>事業活動収入計</b>	<b>81,387,455</b>	<b>85,053,267</b>	<b>△3,665,812</b>	
<b>2 事業活動支出</b>				
<b>1 事業費支出</b>	<b>63,590,373</b>	<b>68,809,132</b>	<b>△5,218,759</b>	
職員給与手当支出	17,752,800	17,660,824	91,976	
諸手当支出	553,800	552,364	1,436	
法定福利費支出	2,964,000	3,007,396	△43,396	
報償費支出	1,165,000	1,026,067	138,933	
旅費交通費支出	27,300	50,130	△22,830	
消耗品費支出	160,000	60,711	99,289	
印刷製本費支出	9,435,000	10,011,618	△576,618	
会議費支出	73,500	7,177	66,323	
通信費支出	2,041,040	2,459,731	△418,691	
賃借料支出	1,560,000	1,462,476	97,524	
会場賃借料支出	1,964,000	1,797,902	166,098	

補修等分担金支出	2,125,000	2,068,968	56,032	
光熱水費支出	178,500	190,349	△11,849	
委託費支出	1,994,000	5,950,750	△3,956,750	
雑費支出	20,000	21,284	△1,284	
租税公課支出	936,000	1,785,742	△849,742	
受託費支出	20,640,433	20,640,433	0	*
職域接種事業費支出	0	55,210	△55,210	
<b>2 管理費支出</b>	<b>13,000,900</b>	<b>12,277,939</b>	<b>722,961</b>	
職員給与手当支出	5,007,200	4,981,258	25,942	
諸手当支出	156,200	155,796	404	
法定福利費支出	836,000	848,240	△12,240	
旅費交通費支出	384,000	20,800	363,200	
消耗品費支出	358,000	264,785	93,215	
印刷製本費支出	410,000	321,750	88,250	
会議費支出	602,000	364,130	237,870	
通信費支出	469,000	436,216	32,784	
賃借料支出	440,000	412,494	27,506	
慶弔費支出	100,000	33,000	67,000	
会場賃借料支出	1,923,000	1,252,631	670,369	
補修等分担金支出	375,000	365,112	9,888	
光熱水費支出	31,500	33,591	△2,091	
諸会費支出	180,000	168,600	11,400	
雑費支出	160,000	175,176	△15,176	
委託費支出	755,000	1,766,900	△1,011,900	
事務委託費支出	450,000	433,950	16,050	
租税公課支出	364,000	243,510	120,490	
事業活動支出計	<b>76,591,273</b>	<b>81,087,071</b>	<b>△4,495,798</b>	
事業活動収支差額	<b>4,796,182</b>	<b>3,966,196</b>	<b>829,986</b>	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1 投資活動収入</b>				
投資活動収入計	0	0	0	
<b>2 投資活動支出</b>				
<b>1 固定資産取得支出</b>				
什器備品購入支出	0	77,000	△77,000	
<b>2 特定資産取得支出</b>				
退職給与引当預金支出	1,621,000	2,027,000	△406,000	
投資活動支出計	1,621,000	2,104,000	△483,000	
投資活動収支差額	△1,621,000	△2,104,000	483,000	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
<b>1 財務活動収入</b>				
財務活動収入計	0	0	0	
<b>2 財務活動支出</b>				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	3,175,182	1,862,196	1,312,986	
前期繰越収支差額	75,908,385	75,908,385	0	
次期繰越収支差額	79,083,567	77,770,581	1,312,986	

備考欄の\*については予算額を補正後の予算額に変更し計上している。

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金・仮払金・前払金・立替金・未収金・未払金・預り金・仮受金・前受金を含めている。

なお、前期末残高及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
預 金	57,400,472	63,419,270
立替金	274,321	248,827
前払金	17,475,221	18,764,030
未収金	20,417,245	21,831,090
合 計	95,567,259	104,263,217
未払金	19,570,874	26,492,636
預り金	88,000	0
合 計	19,658,874	26,492,636
次期繰越収支差額	75,908,385	77,770,581

上記の通り相違ありません。

理 事 長 清 水 尚 道 ⑩

財務委員会担当

副 理 事 長 冨 永 桂 多 ⑩

会 計 理 事 鍛 治 田 千 文 ⑩

会 計 理 事 田 中 祐 司 ⑩

# 監査報告書

令和5年5月17日

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会  
理事長 清水 尚道 様

監事 原 辺 隆 吉 ㊞

監事 三 上 教 道 ㊞

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事の業務執行の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書、財産目録書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### （1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

### （2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

### （3）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上